

参加費
無料

在宅医療・知っていますか？

—がんでも 認知症でも 家で最期まで療養したい人—

【日時】平成29年5月13日

午後1時～4時(開場 午後12時 - 閉会 午後4時)

会場/あましんアルカイックホール・オクト(都ホテルニューアルカイック併設)

阪神尼崎駅より北東に立体遊歩道で徒歩約5分

ワッハッハッ!!
ハッ!!ハッ!!



笑いでつなぐプログラム

午後1時～2時

基調講演

がんでも認知症でも
住み慣れた街で最期まで笑って暮らす

長尾クリニック院長 長尾 和宏



午後2時～3時

特別講演

VR認知症プロジェクト
～認知症をリアル体験してみよう～

一般財団法人サービス付き高齢者向け住宅協会理事

下河原 忠道さん



VR(バーチャルリアリティ)体験コーナーもあり
—認知症を疑似体験し、理解に繋げる—

午後3時～3時30分

落語公演 笑うこと 生きること

上方落語協会副会長 桂 春之輔さん



【参加申込方法】EメールまたはFAXにて受け付けております。詳しくは裏面をご覧ください。

※資料準備・人数把握のため、当日お申込みの方の受付は行いません。事前お申込・当日ご参加の方の区別なく入場いただけます。

【主催】ケアネット尼崎

【共催】医療法人社団裕和会、あいあいケアプランセンター、阪神ホームホスピスを考える会

「在宅医療・知っていますか？」 —がんでも 認知症でも 家で最期まで療養したい人に—

—講師プロフィール—

下河原 忠道 [しもかわら ただみち] さん

株式会社シルバーウッド代表取締役、一般財団法人サービス付き高齢者向け住宅協会理事。2000年株式会社シルバーウッド社設立。2011年直轄運営によるサービス付き高齢者向け住宅を開設。11棟の高齢者住宅の経営を行う。2016年VR認知症プロジェクト開始。

著書:「もう点滴はいらない」(ヒポサイエンス出版)。



VR認知症プロジェクトとは…

バーチャルリアリティ(VR)とは「物理的には存在しないもののそのようにみえる」という意味があり、仮想現実を創り出すコンピュータ技術です。

認知症になると自分の思いをうまく表現できなったり、まわりの人からみると理解できない行動をする場合があります。しかし混乱する環境においては皆いつもと違う行動をするものと理解し、始まったのがVR認知症プロジェクトです。認知症の世界を誰でも体感でき、理解が深まります。

参加申込方法

Eメール または FAXにて受け付けております。

●Eメール

koho@nagaoclinic.or.jp 宛に

件名を「5/13市民フォーラム申込」として、
本文に氏名(代表者)、参加人数、お住まいの市区町村を
記載の上送信ください。

●FAX

06-6412-9396 まで

下記申込用紙に必要事項を
ご記入の上送信ください。

※送信完了となりましたら当会でも受信できております。
返信はいたしませんのでご了承ください。

FAX申込用紙

FAX番号 **06-6412-9396**

氏名	参加人数	名
お住まいの市区町村		
電話番号	FAX番号	